

From  
**18**

〈18歳から〉シリーズ

# 18歳から考える 消費者と法

B5判・110頁 定価 2,310円(税込)

**坂東俊矢**

京都産業大学法科大学院教授  
弁護士

**細川幸一 著**

日本女子大学家政学部教授

消費者問題と法の関わりを簡潔に解説し、  
消費者が社会の主役となるための  
「生きていく術」を提供。

## 【本書3つの特徴】

### ①わかりやすい

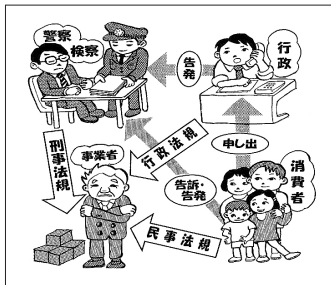
両サイドに本文に対応した用語解説・補足注を付す。  
1項目1～3点の図表やコラムで総合的に概説。

### ②読みやすい

1項目2～4頁の読みきり。

### ③考え、行動するための手引書

経済社会の基礎知識から説きおこし、身近な問題を  
題材に解説。考えながら学ぶしかけがいっぱい。



本書21頁「各法規の適用関係」より

■発行 法律文化社

〒603-8053 京都市北区上賀茂岩ヶ垣内町71  
TEL : 075-702-5830 FAX : 075-721-8400

## ● 目 次 ●

### 第I部 現代の経済社会で生きるとは？

- 1 私たちの生きている社会はどんな社会か？  
▶市場経済の仕組みと市民法を理解する
- 2 生きていくためにしなければならないことを考える  
▶生産と消費を考える
- 3 競争とは何か？
- 4 消費者の権利を考える  
▶消費者基本法の意義
- 5 法体系の中の消費者法

### 第II部 取引被害から消費者法を考える

- 6 消費者法って何だろう？
- 7 未成年者と高齢者から消費者契約を考える  
▶納得できない契約①
- 8 消費者契約をクーリング・オフする  
▶納得できない契約②
- 9 消費者契約法の考える公正な契約とは？  
▶納得できない契約③
- 10 安心してサービスの提供を受けるには？  
▶役務契約の留意点
- 11 IT社会で変わる通信販売を考える  
▶便利なネット通販の落とし穴
- 12 もうけ話にはたいい裏がある？  
▶マルチ商法とネズミ講
- 13 便利だけど危ないクレジットを知る  
▶割賦販売法の消費者保護とその課題
- 14 借りたお金の返し方を考える  
▶多重債務問題と過払金返還請求

### 第III部 安全から消費者法を考える

- 15 食の安全のために消費者は何かできるのか？  
▶食品表示をめぐる消費者問題
- 16 製品の欠陥被害から消費者を守るために  
▶製造物責任法と被害情報

### 第IV部 消費者本位の社会実現のために

- 17 消費者・消費者団体の役割を考える
- 18 消費者の権利を守る行政の仕組み
- 19 賢い消費者になるために  
▶消費者の権利と責任の自覚
- 20 企業の責任を考える

〈資料〉消費者法一覽

書 注 文	取 扱 店	冊	法律文化社	坂東俊矢・細川幸一 著		
			18歳から考える 消費者と法		定価 2310円 (税込)	本体 2200円 (税別)
			ISBN978-4-589-03298-0 C1032 ¥2200E			注文者